

出場指令! 119

佐井消防分署
☎38-2266



みなさん、11月9日は何の日でしょう

「いい(11)くう(9)きの日」という語呂合わせから換気の日や「野口英世」の誕生日だとか色々ありますが、肝心なのを忘れていませんか。

※一部ウィキペディア(Wikipedia)参照

消防と言えば何でしょう。

そうです。119番です。だれでもわかるように11月9日は「119の日」です。

1987年(昭和62年)に自治体消防発足40周年を機に国民の消防全般に対する正しい理解と認識を深め、防災意識の高揚と地域ぐるみの防災体制の確立を目的に消防庁によって制定されました。消防・救急に関する緊急通報用電話番号である119番にちなんだ語呂合わせです。

みなさんの中でも「119番」に電話したことがある方やそうでない方もいるでしょう。そこで「119番通報」の仕方について再認識してみませんか。折り込みチラシにて通報マニュアルを配付しますのでご自宅の電話付近に置き使用しましょう。

お知らせ

消防車が出場するときのサイレンの音が次のように変わります。

○火災出場時(サイレンとパトロールの時に鳴らしているカンカンの警鐘を鳴らして走行します。)

「ウーウーカンカン、ウーウーカンカン」

○火災以外の災害出場時(サイレンだけを鳴らして走行します)

「ウーウー、ウーウー」

これにより、火災出場とその他の災害出場を区別できます。消防活動に対するご理解とご協力をお願いします。運用開始日は平成25年12月1日(日)からです。

※ただし、佐井消防分署タンク車は対応可能な装置を装備していないため従来どおりサイレンのみの出勤となります。



みなさん、キノコ・山菜採りなどで入山する際どうしていますか?

毎年、春から秋にかけて各地の山々は山菜採りの入山者で賑わいますが、その反面遭難が後を絶たず、中には尊い命を失ったケースも多くあります。特に最近多いのが、高齢者の遭難や入山したものの現在位置・帰路がわからないといった「道迷い」が圧倒的です。

遭難防止のためのアドバイス

○山に出かける前に

- 家族などに行き先や帰宅予定時間を知らせ、できるだけ2人以上で出かける。
- 万一に備え、水や食糧、ライター、雨具、コンパス、携帯電話などを持つ。
- 体調の悪いときや悪天候時は絶対に無理をしない。

○山に入ったら

- 集合場所の目印となる大木などにラジオを固定し活用し、目標物を定め早めの下山を心掛ける。
- お互いに声を掛け合い位置を確認する。
- 急斜面や崖など、危険な場所は避ける。

○迷ったら

- 日没後は歩き回らず救助隊を待つ。
- ヘリコプターの音が聞こえたら、見通しの良い場所でタオルなどを振って合図する。